

各圏域別の状況

※個別の数値は別添資料参照

【峡中】

- 峡中圏域所在の対象施設等に係る観光客数は、前年比8.8%の減少となりました。
- 「山梨県立愛宕山子供の国」において、周辺道路の混雑回避のため駐車場の使用を制限するなど、運用を変更した結果、前年より観光客数が減少しました。
- 特に期間後半において好天に恵まれる日が多かったことから、「赤坂台総合公園」をはじめとした屋外施設において利用客が訪れました。

【峡東】

- 峡東圏域所在の対象施設に係る観光客数は、前年比12.4%の増加となりました。
- 「山梨県立博物館」は、期間中に開催していた企画展が好評であったことに加えて、カフェが令和6年2月にオープンしたことやマルシェを開催したことなどにより1日当たり（土日祝日）89%増加しました。
- 「勝沼ぶどうの丘」では、ワインサーバーラインナップの変更やマスの餌やり体験等幅広い客層を対象とした取り組みを行ったことから、1日当たり（土日祝日）14.9%の増加となりました。

【峡南】

- 峡南圏域所在の対象施設等に係る観光客数は、前年比2.4%の増加となりました。
- 「道の駅とみざわ」では、施設内においても直売されているタケノコが豊作であった影響があり、観光客が増加となりました。

【峡北】

- 峡北圏域所在の対象施設等に係る観光客数は、前年比7.4%の増加となりました。
- 「山梨県フラワーセンター（ハイジの村）」では、開花のピークがゴールデンウィーク期間と重なったことから、1日当たり（土日祝日）22.9%の増加となりました。

【富士・東部】

- 富士・東部圏域所在の対象施設等に係る観光客数は、前年比9.9%の増加となりました。
- 「北口本宮富士浅間神社」や「道の駅富士吉田」は、インバウンド観光客の入込が好調のため多くの観光客が訪れました。

備考

観光客数とは、県内の主要な観光施設等から報告のあった客数を合計したものです。